

2016 年度 研究所事業報告書

研究所名	国際地域研究所
研究所長名	本名 純

I. 研究成果の概要

本欄には、研究所・センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、研究所総合計画(5 ヵ年)および 2016 年度重点プロジェクト申請調書に記載した内容に照らし、項目立てなどをおこなうことができるだけわかりやすく記述してください。

本研究所(国際地域研究所[以下 国地研])は、1989 年の設立以降、国際関係学と地域研究の両分野において、先端的な研究活動をリードすることで、国内外の学術コミュニティーに貢献しようと努めてきた。その大きな目標からみて、2015 年までの到達点を、国地研の「発展第一ステージ」、2016 年からの 5 年間を「発展第二ステージ」と位置づけている。この「第二ステージ」に求められるのは、「国地研アイデンティティ」の創造と、その国内外への浸透である。今までは、ある意味「全方位的」に個々の研究プロジェクトを運営してきたが、それとは別に、特定の研究テーマを軸にした大型研究プロジェクトを編成し、その研究拠点の構築と国際発信を戦略的に進め、国地研の看板研究を国内外に認知・定着させる。過去の経験から、我々の知的蓄積の強みは国際関係学的には「平和研究」にあり、地域研究的には「東アジア研究」にあると認識している。この強みを活かし、両研究拠点を車の両輪として国地研の国際発信強化の牽引役に育てていく。また、国地研の代名詞として、「平和研究」と「東アジア研究」のツイン拠点が、広く国内外に認識されるように努めていく。これらが「第二ステージ」のミッションでありビジョンである。

以上のビジョンに基づき、全体の戦略としては、2つの重点プロジェクトを国際展開の牽引役として位置づけ、国内外に国地研のプレゼンスを発揮させることに務めた。同時に 6 つの研究所内プロジェクトを設置し、新規の萌芽的研究課題と、継続の研究課題の両方をバランスよく支援した。この中から、次年度の重点プロジェクトへの参画が可能な研究を見出していききたい。また、研究成果発信を促すためにも、紀要での特集号企画を進めた。英文での論文発表の機会を増やしたい若手研究者のニーズに対応する形で、2016 年度から紀要の国際化も前進した。今後も重点プロジェクトと研究所内プロジェクトのメンバーによる積極的な国際発信をサポートしていく。

ここで重要なのは、重点プロジェクトとその他のプロジェクトを分断するのではなく、有機的に運営していくことである。そのためにも、研究関心領域が重なる部分を意識的に発見し、それを軸にプロジェクトを横断する形で研究会をアドホックに開催する試みを今年度からスタートさせたい。このような学際的な議論空間の提供は、若手研究者や院生にとって刺激的な学びの実践につながる。研究科単位ではできない教育の場を国地研が作っていく——これも 2016 年度から意識的に進めた活動である。

以上を踏まえ、個別のプロジェクトの 2016 年度の主要な成果は以下の通りである。①「紛争・平和構築研究」では、世界の紛争分析を中心に研究し、その成果は、図書出版を 11 点、論文 6 本、学会発表 31 回、メディア掲載や講演 36 回となった。科研費などの外部資金も 2016 年度申請で 4 件獲得した。またメンバーの一人は熊本大学の助教として就職が決まった。②「中国「強国化」の諸相」では中国外交に関する国際シンポを実施し、図書出版 3 点、論文 23 本、研究発表 24 回となった。科研費の新規獲得を実現化した。③「日本経済研究会」では、公共事業の公益確保について研究し、3 本の論文に成果をまとめている。④「日米中政治経済研究会」では、東アジア地域統合にフォーカスし、図書出版 5 点、論文 12 本、研究発表 8 回となった。⑤「中国法・アジア法研究会」では中国民法総則を中心に研究し、成果を図書出版 1 点、論文 2 本、研究発表 2 回の形で発信した。⑥「中国語圏地域人文学研究会」では「中国的近代」に焦点を当てた研究を進め、図書出版 2 点、論文 3 本、研究発表 5 回、報道発表・講演会 3 本という発信になった。

このように、研究成果については 5 ヵ年計画と照らしても順調に進捗している。しかしながら、研究成果をいかに外部資金の獲得につなげていくかは、研究所にとって残された大きな課題であり、特に中型・大型の外部資金の獲得に向けて、努力と工夫が必要である。

II. 拠点構成員の一覧

本欄には、2017年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員協力研究員等の構成員を全て記載してください

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③学振特別研究員(PD・RPD)、④博士後期課程院生・一貫制博士課程3回生以上に在籍する院生

役割	氏名	所属	職位
研究所長・センター長	本名純	国際関係学部	教授
運営委員	小田美佐子	法学部	准教授
	中川涼司	国際関係学部	教授
	高橋伸彰	国際関係学部	教授
	廣野美和	国際関係学部	准教授
	宇野木洋	文学部	教授
	田中祐二	経済学部	教授
	守政毅	経営学部	教授
	安江則子	政策科学部	教授
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	出口雅久	法学部	教授
	徳川信治	法学部	教授
	吉田美喜夫	法学部	教授
	須藤陽子	法学部	教授
	倉田玲	法学部	教授
	安達光治	法学部	教授
	樋爪誠	法学部	教授
	吾郷眞一	法学部	教授
	島津幸子	法学部	教授
	植松健一	法学部	教授
	薬師寺公夫	法務研究科	教授
	西村智朗	国際関係学部	教授
	板木雅彦	国際関係学部	教授
	星野郁	国際関係学部	教授
	足立研幾	国際関係学部	教授
	君島東彦	国際関係学部	教授
	中戸祐夫	国際関係学部	教授
	末近浩太	国際関係学部	教授
	クロス京子	国際関係学部	准教授
	岩田拓夫	国際関係学部	准教授
	福海さやか	国際関係学部	准教授
	安高啓朗	国際関係学部	准教授
	猪木武徳	国際関係学部	客員教授
	上野隆三	文学部	教授
	三須祐介	文学部	准教授
	宮内肇	文学部	准教授
廣澤祐介	文学部	准教授	

		中本悟	経済学部	教授	
		田中宏	経済学部	教授	
		古川彰	経済学部	特任教授	
		小池洋一	経済学部	特任教授	
		斎藤敏康	経済学部	特任教授	
		絹川浩敏	経営学部	教授	
		陳晋	経営学部	教授	
		竇少杰	経営学部	助教	
		村本邦子	応用人間科学研究科	教授	
		西村陽造	政策科学部	教授	
		宮脇昇	政策科学部	教授	
		楊秋麗	政策科学部	講師	
		城山拓也	言語教育センター	外国語嘱託講師	
学内の若手研究者	専門研究員・研究員	岡野英之	衣笠総合研究機構	専門研究員	
		Agus Trihartono	立命館グローバルイノベーション研究機構	専門研究員	
		佐々木葉月	立命館グローバルイノベーション研究機構	専門研究員	
		森類臣	立命館グローバルイノベーション研究機構	専門研究員	
	補助研究員・リサーチアシスタント				
	学振特別研究員 (PD・RPD)				
	博士課程院生・一貫制博士課程在籍院生		岡田啓輔	国際関係研究科	博士後期課程院生
			南玉瓊	国際関係研究科	博士後期課程院生
			工藤献	国際関係研究科	博士後期課程院生
			生駒智一	国際関係研究科	博士後期課程院生
			Nino Viartasiwi	国際関係研究科	博士後期課程院生
			Muhamad Haripin	国際関係研究科	博士後期課程院生
			Adhi Priamarizki	国際関係研究科	博士後期課程院生
			郭炳益	国際関係研究科	博士後期課程院生
			野島大輔	国際関係研究科	博士後期課程院生
			円城由美子	国際関係研究科	博士後期課程院生
			Budi Pramono	国際関係研究科	博士前期課程院生
			重村瑞穂	国際関係研究科	博士前期課程院生
			中山侑香	国際関係研究科	博士前期課程院生
			Trissia Wijaya	国際関係研究科	博士前期課程院生
			Li Chun	国際関係研究科	博士前期課程院生
			Nathaniel Miller	国際関係研究科	博士前期課程院生
			李銀珠	国際関係研究科	博士前期課程院生
		先川ひとみ	国際関係研究科	博士前期課程院生	
		Nurul Aulia	国際関係研究科	博士前期課程院生	
		鄭強	国際関係研究科	博士前期課程院生	
	崔赫宰	国際関係研究科	博士前期課程院生		
	藁谷達至	経済学研究科	博士前期課程院生		

その他の学内者 (非常勤講師・研究生・研修生等)	大久保史郎	法学部	非常勤講師/名誉教授
	中川洋一	法学部	非常勤講師
	佐竹修吉	国際関係学部	非常勤講師
	石原直紀	国際関係学部	特任教授
	松下冽	国際関係学部	特任教授
	文京洙	国際関係学部	特任教授
	藪中三十二	国際関係学部	特別招聘教授
	高須幸雄	国際関係学部	客員教授
	佐藤誠	国際関係学部	非常勤講師
	山川卓	国際関係学部	研究生
客員協力研究員	山根和代	国際地域研究所	客員研究員
	藤山一郎	和歌山大学国際教育研究センター	准教授
	松村博行	岡山理科大学総合情報学部	准教授
	畢麗傑	国際地域研究所	客員協力研究員
	潘燕萍	中国深圳大学経営学部	講師
	小山大介	宮崎大学 テニユアトラック推進機構	テニユアトラック准教授
	蘇奎	東北師範大学	副教授
	森原康仁	三重大学人文学部	准教授
	山根健至	福岡女子大学	専任講師
	韓金江	岐阜経済大学経営学部	教授
	向渝	香川大学経済学部	准教授
	中川亮平	京都外国語大学キャリアセンター	センター長
	李愛俐娥	早稲田大学韓国学研究所	上級客員教授
	李京柱	韓国仁荷大学	教授
	鳥谷まゆみ	北九州市立大学	准教授
	シン・ヒョンオ	国際地域研究所	客員研究員
	鈴木章悟	英国マンチェスター大学社会科学部	准教授
	魏聰哲	中華経済研究院第三研究所	副研究員
	崔正勲	宗教法人統国寺	副住職
	徐林卉	上海社会科学院 部門経済研究所	副研究員
孫基雄	韓国統一研究院	教授	
代田純	駒澤大学経済学部	教授	
Maria Tana	National University of Singapore	博士後期課程院生	
井出文紀	近畿大学経営学部	講師	
その他の学外者 (他大学教員・若手研究者等)	Michael Reiterer	欧州連合対外行動庁	元スイス大使・駐日公使

	原田徹	同志社大学	助教
	中川正之	神戸大学	名誉教授
	水野和夫	法政大学法学部	教授
	竹路威	京都商工会議所	総務部部員
	角本和理	北海道大学大学院法学研究科	助教
	朱曄	静岡大学法務研究科	教授
	山崎圭一	横浜国立大学経済学部	教授
	宇佐見耕一	同志社大学グローバル地域文化学部	教授
	井上博	阪南大学流通学部	教授
	櫻井公人	立教大学経済学部	教授
	千葉典	神戸市立大学外国語学部	教授
	平賀緑	京都大学大学院経済学研究科	博士後期課程院生
	松嶋紀美子	大阪市大創造都市研究科	博士後期課程院生
	村上友章	三重大学	特任准教授
	Lam Peng Er	National University of Singapore	教授
	Sung Chull Kim	Seoul National University	教授
	秋林こずえ	同志社大学	教授
	大野光明	大阪大学	助教
	福島在行	広島平和記念資料館	学芸員
	Shofwan Albana C	University of Indonesia	講師
	Amitav Acharya	American University	教授
	Yang JIANG	デンマーク国際問題研究所	高級研究員
	Courtney FUNG	香港大学	准教授
	Marc LANTEIGNE	ノルウェー国際問題研究所	高級研究員
	Camilla T.N. SORENSEN	デンマーク大学	准教授
	Imad MANSOUR	カタール大学	准教授
	河知延	近畿大学産業理工学部	教授
	菊地俊介	BKC 社系研究機構	客員協力研究員
	Ryan Manuel	日本アジア研究所	客員協力研究員
研究所・センター構成員 計 139 名 (うち学内の若手研究者 計 26 名)			

Ⅲ. 研究業績

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2017年3月31日時点)

1. 著書

研究所内プロジェクト

No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	大久保史郎, 樋爪誠, 吉田美喜夫	人の国際移動と現代日本の法 人 身取引・外国人労働・入管法制	共編	2017年2月	日本論評社	—	

2	田中宏	EUのマクロリージョン戦略『欧州統合と社会経済イノベーション』	単著	2017年1月	日本経済論評者	八木紀一郎他編	pp.263-303
3	宇野木洋	新自由主義的グローバル化と東アジア	中国語監訳	2016年12月	法律文化社	中谷義和・朱恩佑・張振江編	
4	菊地俊介	新自由主義的グローバル化と東アジア	中国語翻訳	2016年12月	法律文化社	中谷義和・朱恩佑・張振江編	
5	城山拓也	第5章 まだ見ぬ星座を求めて: 廃名と星々のものがたり	単著	2016年10月	関西学院大学出版会	神谷まり子・中村みどり・大野陽介ほか	pp.71-83
6	朱擘	日本民法典修正案 I 第1編総則	共訳	2016年10月	元照出版社	加藤雅信著	pp.1-764
7	井出文紀	「マレーシア 多民族国家の成長の行方」藤田和子、文京洙編『第二巻 新自由主義下のアジア』松下洸、藤田和子監修『グローバル・サウスはいま』	共著	2016年10月	ミネルヴァ書房	藤田和子、文京洄、松下洸等	pp.240-259
8	森原康仁	「Chap. 12 科学技術政策を考える——産学連携・イノベーションと市民社会」『入門 現代日本の経済政策』	共著	2016年8月	法律文化社	岡田知弘、岩佐和幸編	pp.197-212
9	中川涼司	「中国の多国籍企業化の現状と発展途上国多国籍企業論への意味」夏目啓二編『21世紀の経営戦略』	共著	2017年3月	文眞堂	夏目啓二他	pp.105-121
10	小山大介	「Chap. 13 通商政策と考える」岡田知弘・岩佐和幸編『入門 現代日本の経済政策』	共著	2016年8月	法律文化社	岡田知弘・岩佐和幸他	pp.213-231
11	小山大介	岡田知弘監修、小山大介編集『丸亀市産業振興計画基礎調査報告書』	共著	2017年3月	(株)地域計画建築研究所・京都大学大学院経済学研究科岡田知弘研究室	岡田知弘	

重点プロジェクト(CAPS)

12	足立研幾	“Resisting the Ban on Cluster Munitions” in <i>Norm Antipreneurs: The Politics of Resistance to Global Normative Change</i>	単著	2016年10月	Routledge	Alan Bloomfield et al	pp.53-70
13	足立研幾	『現代国際政治の基礎知識』項目執筆 (「ガヴァナンス」「コンストラクティヴィズム」「レジーム」)	単著	2017年3月	有斐閣	田中明彦・中西寛編	pp.1-12
14	末近浩太	「イスラーム主義運動の歴史的展開: 中東地域研究におけるその意義を捉え直す」『中東の新たな秩序(グローバル・サウスは今 第3巻)』	単著	2016年5月	ミネルヴァ書房	松尾昌樹 岡野内正 吉川卓郎 編著	pp.41-58
15	足立研幾	「国際政治における市民社会組織—世界政府なき統治の最前線」、坂本治也編『市民社会論の最前線』	単著	2017年2月	法律文化社	吉田忠彦編著	pp.241-257
16	クロス京子	「平和構築と正義の課題」木田剛・竹内幸雄編『安定を模索するアフリカ』	単著	2017年3月	ミネルヴァ書房	木田剛・竹内幸雄 編著	pp.126-147
17	Kyoko	"The Fambul Tok (Family Talk)"	単著	2017年3月	Langaa	Yntiso Gebreg 他	pp.145-170

	Cross	Project: A Hybrid Attempt for Local Transitional Justice in Sierra Leone," <i>African Potentials: Conflict handling and peaceful coexistence</i>					
18	本名純	「非伝統的安全保障」山本信人編『東南アジア地域研究入門 3 政治』	単著	2017年2月	慶応義塾大学出版会	山本信人編著	pp.219-234
19	末近浩太	「イスラームとデモクラシーをめぐる議論」『中東・イスラーム研究概説: 政治学・経済学・社会学・地域研究のテーマ』	単著	2017年3月	明石書店	私市正年・浜中新吾・横田貴之編著	pp.19-28
20	Agus Trihartono	The Evolving ASEAN Security Community: Background and Rationales	単著	2016年10月	Lambert Academic Publishing: Germany	—	
21	中戸祐夫	“North Korean Unification Strategies: North Korea’s Strategic Culture and its Implications,” in <i>One Korea: Visions of Korean Unification</i> ,	単著	2016年11月	Ashgate	Tae-Hwan Kwak and Seung-Ho Joo eds.	pp.31-51
重点プロジェクト(中国強国化諸相)							
22	Hirono, M.	China’s Proactive Diplomacy in Afghanistan: A Challenge to the Principle of Non-Interference	単著	2016年11月	China and the Challenges in Greater Middle East: Conference Report, Danish Institute for International Studies and University of Copenhagen,	Lars Erslev Andersen, Yang Jiang and Camilla Sorensen (eds)	pp.40-45
23	守政毅	日中ビジネスの深化と中小企業の中国経営	単著	2016年4月	『東アジアの地域経済発展と中小企業』晃洋書房	松野周治、今田治、林松国編著	pp.125-144
24	中川涼司	中国の多国籍企業化の現状と発展途上国多国籍企業論への意味	単著	2017年3月	『21世紀の経営戦略』文眞堂	夏目啓二編	pp.105-121

2. 論文								
研究所内プロジェクト								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	小池洋一	ブラジルの連帯経済と生産チェーン・ジュスタ・トゥルマの事例	単著	2017年1月	イベロアメリカ研究 (XXXVIII:2)		pp.39-54	有
2	山崎圭一	Is Bigger Really Better? A Comparative Analysis of Municipal Mergers in Australian and Japanese Local Government	単著	2017年3月	International Journal of Public Administration		pp.1-10	有
3	中川洋一	90年連合: 緑の党の安保間の変容とそのドイツ対外的安保政策への主導的意味	単著	2017年3月	ドイツ研究第51号		pp.91-108	有
4	城山拓也	芸術家としての「漫画家」——1930年代中頃の葉浅子と『時代漫画』	単著	2017年3月	『立命館国際地域研究』第45号		pp.119-134	有
5	城山拓也	「Bringing Up Father」から「王先生へ」——葉浅子と1920年代上海の都市文化	単著	2017年3月	『マンガ研究』第23号		pp.123-142	有

6	角本和理	サイバー時代におけるプライバシーの法理論 (1)	単著	2016年11月	北大法学論集 67 卷 4 号		pp.55-127	有
7	角本和理	サイバー時代におけるプライバシーの法理論 (2)	単著	2017年1月	北大法学論集 67 卷 5 号		pp.109-171	有
8	小池洋一	ブラジルの労働者協同組合：連帯性と経済性	単著	2016年8月	立命館経済学(65:1)		pp.69-92	無
9	小池洋一	ブラジルの社会技術とオルタナティブな開発	単著	2017年3月	立命館経済学(65:6)		pp.58-72	無
10	山崎圭一	(研究ノート) 先進国との国際比較によるブラジル住宅政策の特徴と課題	単著	2017年3月	立命館経済学(65:6)		pp.74-88	無
11	安江則子	Brexit からみる欧州のエネルギー安全保障	単著	2016年11月	グローバルアジア・レビュー 第3号		pp.11-12	無
12	菊地俊介	日本占領下華北における欧米キリスト教会と新民会の相克	単著	2017年3月	『対日協力政権とその周辺』愛知大学国際問題研究所		pp.173-207	無
13	高橋伸彰	持続可能な社会に原発は不要である	単著	2017年2月	岩波書店『科学』87 卷 3 号		pp.271-276	無
14	高橋伸彰	日本の電力会社は本当に公益企業なのか	単著	2017年4月	岩波書店『科学』87 卷 第 5 号		pp.456-462	無
15	高橋伸彰	永遠の「道半ば」に潜む安倍首相の真意	単著	2017年1月	『週刊金曜日』1120 号		pp.14-17	無
16	朱曄	中国における遺留分制度の構築にあたって—大家族主義的理念と個人主義的理念に揺れる制度の行方	単著	2017年3月	立命館法学 369・370 号		pp.315-340	無
17	井出文紀	TPP 大筋合意とマレーシア・ベトナム国内の反応——現地報道、政府の影響調査分析、反対運動などからみえるもの——	単著	2016年7月	『商経学叢』第 63 卷 第 1 号、近畿大学経営学部		pp.133-151	無
18	森原康仁	TPP と国内制度改革——新自由主義的統治性の下での対外政策	単著	2017年2月	『哲学と現代』第 32 号		pp.5-25	無
19	森原康仁	オバマ政権の理念と現実——『中間層の経済学』と分割政府下の苦闘	単著	2017年2月	『季刊 ピープルズ・プラン』第 75 号		pp.74-84	無
20	中川涼司	中国の停滞する輸出入と急増する対外直接投資	単著	2016年6月	『東亜』No.588		pp.2-3	無
21	中川涼司	『供給側改革』と『総需要の適度な拡大』の狭間で	単著	2016年9月	『東亜』No.591		pp.2-3	無
22	中川涼司	財政的制約の下で進められる中国の介護保障整備	単著	2016年12月	『東亜』No.594		pp.2-3	無
23	中川涼司	OECD/G20 国際租税回避対策と中国	単著	2017年3月	『東亜』No.597		pp.2-3	無
24	小山大介	特集 建築業における国際化の論点整理 総論：日本企業のグローバル化を取り巻く状況 日系多国籍企業および建設業における海外進出と撤退の現状	単著	2016年9月	日本建築学『建築雑誌』Vol.131, No.1688		pp.5-7	無

25	中本悟	トランプ大統領の経済学	単著	2017年2月	『経理情報』巻頭言「談・論」(中央経済社)		p.1	無
26	中本悟	どうする格差大国アメリカーなぜ「中間層」はこんなに衰退したのかーオバマ時代を検証するー	単著	2016年9月	講談社現代ビジネス		e-journalにつきページなし	無
27	中本悟	中間所得層の衰退と米大統領選挙	単著	2016年9月	『経済』		pp. 89-101	無
重点プロジェクト(CAPS)								
28	本名純	アジアにおける「イスラム国」の浸透	単著	2016年7月	『外交』38		pp.129-135	無
29	末近浩太	「書評：ハサン・バンナー(北澤義之・高岡豊・横田貴之編訳)『ムスリム同胞団の思想・上：ハサン・バンナー論考集(イスラーム原典叢書)』(岩波書店, 2015年)・ハサン・バンナー(北澤義之・高岡豊・横田貴之・福永浩一編訳)『ムスリム同胞団の思想・下：ハサン・バンナー論考集(イスラーム原典叢書)』(岩波書店, 2016年)」	単著	2017年3月	『イスラーム世界研究』10		pp.320-322	有
30	末近浩太	シリアの危機をどう捉えるかー「未完の物語」としての「シリア分割」	単著	2016年11月	『日本の科学者』51		pp.12-17	無
31	末近浩太	レバノン：「決めない政治」の行方(特集 中東地域の現実と将来展望)	単著	2017年1月	『アジア研ワールドトレンド』256,		pp.12-13	無
32	Takuo Iwata	Borders and Regional Security in Local Governments' Cooperation in West Africa: Case Studies in Burkina Faso	単著	2016年12月	Ritsumeikan Annual Review of International Studies, Vol. 15		pp. 1-25	無
33	Agus Trihartono	Book Review: Contemporary Conflicts in Southeast Asia: Towards a New ASEAN Way of Conflict Management. By Mikio Oishi (Ed). Singapore: Springer, 2016. 208pp	単著	2017年3月	The Ritsumeikan International Affairs, Vol.15		pp.121-128	無
重点プロジェクト(中国強国化諸相)								
34	Chen, Jin	Conversion of Chinese Economy and Opportunity of Japanese Companies	単著	2016年5月	立命館経営学 55(1)		pp.1-15	無
35	Chen, Jin	The Risk & Chance of Japanese Enterprises in Chinese Market	単著	2016年4月	International Relations and Diplomacy, Vol. 4/ No. 8		pp.481-492	無
36	竇少杰	500年老舗虎屋の経営秘訣	単著	2017年2月	『家族企業』23		pp.44-49	無
37	竇少杰	千年傳香寺の伝承と創新	単著	2017年1月	『家族企業』22		pp.119-123	無
38	竇少杰	日本老舗企業捍衛百年家業的矛和盾	単著	2016年12月	『家族企業』21		pp.57-59	無
39	竇少杰	HIGETA 醤油：400年企業”不易”与”流行”	単著	2016年11月	『家族企業』20		pp.36-40	無
40	竇少杰	「三方よし」理念と事業承継ーツカキグループの150年ー	共著	2016年11月	『立命館経営学』55/3		pp.129-151	無
41	竇少杰	老舗活力源于不断的環境適応：1210年傳來工房	単著	2016年10月	『家族企業』19		pp.45-51	無
42	竇少杰	「信念不動」和「利他之心」成就400年家業：400年小丸屋	単著	2016年9月	『家族企業』18		pp.96-99	無
43	竇少杰	百年任天堂的闖關秘訣：駐足不前就只有死亡	単著	2016年9月	『家族企業』18		pp.44-47	無
44	竇少杰	遵天命、尽人事：生田家族世代傳承	単著	2016年8月	『家族企業』17		pp.92-97	無

		的創業精神						
45	竇少杰	“不易流行”如何理解	単著	2016年7月	『家族企業』16		pp.80-81	無
46	竇少杰	京都の老舗企業（一和、塚喜商事、月桂冠、京セラ、老松）	単著	2016年7月	『家族企業』16		pp.70-77	無
47	竇少杰	日本百年老舗企業の鍵 DNA	単著	2016年7月	『家族企業』16		pp.63-65	無
48	竇少杰	大塚家具父女経営権紛争背後の伝承僵局	単著	2016年6月	『家族企業』15		pp.88-91	無
49	竇少杰	当伊藤家族遭遇「鈴木帝国」	単著	2016年6月	『家族企業』15		pp.41-45	無
50	竇少杰	住友財閥：所有権和経営権分離の典範	単著	2016年5月	『家族企業』14		pp.92-97	無
51	竇少杰	絶境再生的三菱財閥和岩崎四代	単著	2016年4月	『家族企業』13		pp.98-101	無
52	魏聰哲	台湾中小企業の国際連携戦略による新興国市場の展開	単著	2016年12月	『立命館国際地域研究』第44号		pp.1-20	無
53	WU, S & WEI, T.	“SMEs’ Strategic Transformation on Export Development in Response to the U.S. Reindustrialization —Case Study in Taiwan”	単著	2017年3月	Ritsumeikan International Affairs, Vol.15		pp.20-43.	無
54	中川涼司	中国の停滞する輸出入と急増する対外直接投資	単著	2016年6月	『東亜』（霞山会）No.588		pp.2-3	無
55	中川涼司	「供給側改革」と「総需要の適度な拡大」の狭間で	単著	2016年9月	『東亜』（霞山会）No.591		pp.2-3	無
56	中川涼司	財政的制約の下で進められる中国の介護保障整備	単著	2016年12月	『東亜』（霞山会）No.594		pp.2-3	無
57	中川涼司	OECD/G20 国際租税回避対策と中国	単著	2017年3月	『東亜』（霞山会）No.597		pp.2-3	無

3. 研究発表等					
研究所内プロジェクト					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	安江則子	Brexit の帰結:EU とグローバル社会へのインパクト	2016年10月	グローバルガバナンス学会, 大阪大学, 大阪府豊中市	単独セッション (福田耕司:早稲田大学)
2	安江則子	英国離脱と欧州安保: Brexit からみる欧州エネルギー安全保障	2016年11月	国際アジア共同体学会, 立命館大学茨木キャンパス, 大阪府茨木市	単独セッション(森晶寿:京都大学)
3	菊地俊介	戦後中国における漢奸処理条例の解釈と運用をめぐる問題	2016年6月	日本現代中国学会関西支部大会, 龍谷大学深草キャンパス, 京都府京都市	単独セッション (濱田麻矢・神戸大学)
4	三須祐介	ホモエロティシズムという欲望と抵抗——(疑似)戦争下のマスター・ナラティブ、抵抗としての逸脱(クイア)	2016年4月	科研費「現代中国語圏文化における逸脱の表象」研究会, 神戸大学, 兵庫県神戸市	単独セッション (濱田麻矢・神戸大学)
5	城山拓也	『Bringing Up Father』から『王先生』へ——葉浅子と1920年代上海の都市文化	2016年6月	日本マンガ学会第16回大会, 東京工芸大学中野キャンパス, 東京都中野区	単独セッション (山中千恵・愛大学人間学部)
6	城山拓也	『良友』画報と『漫画』——万籟鳴を中心に	2016年10月	「上海と『良友』画報の世界」国際シンポジウム, 神奈川大学横浜キャンパス, 神奈川県横浜市	単独セッション (岩間一弘・慶応義塾大学)

7	宇野木 洋	共通論題シンポジウム「流動化する中国の行方」	2016年6月	日本現代中国学会関西部会大会, 龍谷大学深草キャンパス, 京都府京都市	学会シンポジウム司会 (北川秀樹, 巖善平 他3名)
8	小田美佐子	中国民法総則の伝統および特色に関する報告の通訳	2017年3月	日中学術シンポジウム, 東京大学, 東京都文京区	王澤鑑
9	朱擘	中国民法総則の要点分析に関する報告の通訳	2017年3月	日中学術シンポジウム, 東京大学, 東京都文京区	孫憲忠
10	井出文紀	TPP 大筋合意とマレーシア・ベトナム国内の反応——現地報道、政府の影響調査分析、反対運動などからみえるもの——	2016年6月	アジア市場経済学会第20回全国大会, 東亜大学, 山口県下関市	単独セッション (高橋 義仁・専修大学)
11	小山大介	多国籍企業の海外事業活動の新展開—1990年代以降の企業内貿易分析を中心に—	2016年4月	政治経済学・経済史学会近畿部会例会, 京都大学吉田キャンパス, 京都府京都市	単独セッション (ランビーノ・ジョン・25・バラガス・京都大学経済学研究科特定講師)
12	小山大介	多国籍企業による企業内貿易の新展開—米国ベンチマーク・サーベイ分析を中心に—	2016年5月	日米中政治経済研究会第47回研究会, 立命館大学衣笠キャンパス, 京都府京都市	単独セッション (岡田啓輔・立命館大学国際関係研究科)
13	小山大介	多国籍企業による企業内貿易に関する研究—多国籍企業活動から見た現代世界経済—	2017年1月	基礎経済研究所若手研究報告会, 桃山学院大学梅田サテライト, 大阪府大阪市	単独セッション (森本壮亮・桃山学院大学)
14	板木雅彦	2016年初頭からの世界経済の動揺——来るべき危機をとらえる準備として	2016年4月	日米中政治経済研究会第46回研究会, 立命館大学衣笠キャンパス, 京都府京都市	単独セッション (田村太一・流通経済大学)
15	板木雅彦	塩沢由典『リカード貿易問題の最終解決』(2014)を読む—リカード・マルクス型貿易理論を目指して	2016年12月	日米中政治経済研究会第51回研究会, 立命館大学衣笠キャンパス, 京都府京都市	単独セッション (藁谷達至・立命館大学大学院経済学研究科)
16	板木雅彦	リカード・マルクス型貿易理論を目指して (1)—国内経済の構造	2017年1月	日米中政治経済研究会第52回研究会, 立命館大学衣笠キャンパス, 京都府京都市	単独セッション (千葉典・神戸市外国語大学)
17	板木雅彦	リカード・マルクス型貿易理論を目指して (2)—パラダイムの転換	2017年3月	日米中政治経済研究会第53回研究会, 立命館大学衣笠キャンパス, 京都府京都市	単独セッション (小西宏美・駒沢大学)
重点プロジェクト(CAPS)					
18	本名純	Post-Conflict Consolidation of Peace in Aceh, Indonesia	2016年8月	Institute of Peace and Unification Studies, "Post-Conflict Peacebuilding and Democratization in Asia: Experiences and Models," Seoul National University, Korea	単独セッション (Hak Jae, Kim (Seoul National University))
19	末近浩太	Redefining 'Resistance': Hizballah's Military Intervention in the Syrian Conflict and its Consequences	2016年9月	The 5th International Forum on Asia and the Middle East, "A Global Perspective of the Middle East Governance," Shanghai International Studies University (SISU), Shanghai, CHINA	単独セッション (Li Chengwen (China's Foreign Ministry))

20	末近浩太	The Rise of the Pan-Shiites Militia Network: Hizballah's Military Intervention in the Syrian Conflict(s)	2016年7月	BRISMES Annual Conference 2016 "Networks: Connecting the Middle East through Time, Space and Cyberspace," University of Wales Trinity St David, Lampeter, UK,	William Harris(University of Otago, Department of Politics) 他
21	末近浩太	A New Authoritarian Alliance over the Muslim Brotherhood? Egypt's anti-Islamist Foreign Policy and Re-formation of the Arab Security Alliance	2016年6月	CEEISA-ISA 2016 Joint Conference, Faculty of Social Sciences, University of Ljubljana, Ljubljana, SLOVENIA,	単独セッション (Jaroslav Tir ・ University of Colorado)
22	岩田拓夫	Cross-Border Local Governments' Cooperation and Regional Security in Africa	2016年5月	15th Border Regions in Transition (BRIT) Conference, "Cities, States and Borders: From the Local to the Global," Hamburg, Germany	単独セッション (Professor Jürgen Ossenbrügge, ・ University of Hamburg)
23	Agus Trihartono	Out of Shadow of the Past: Challenges towards a full-fledged ASEAN Political-Security Community.	2016年9月	ASEASUK Conference 2016, SOAS, University of London, UK	単独セッション (Dr. Caverlee Cary ・ University of California, Berkeley)
24	岡野英之	Never-ending Nation-building? Examining 'Frontiers' of Contemporary Modern-states	2016年5月	IUAES Inter-Congress, Dubrovnik, Croatia	単独セッション (橋本 茉莉 ・ 一橋大学)
25	本名純	インドネシアにおけるイスラム国家(IS)の衝撃	2016年7月	外務省第3回国際協力事業安全対策会議, 東京都千代田区	単独セッション (赤木剛 ・ 日本商工会議所 国際部長)
26	本名純	Problems of Peacebuilding in Aceh, Indonesia	2016年7月	GRM International Conference 2016 "Conflicts and Peacebuilding: Toward the Sustainable Society", 京都府京都市	単独セッション (内藤正典 ・ 同志社大学)
27	本名純	インドネシア・ジョコウィ政権の海上国境管理と海洋安全保障	2016年7月	東南アジア島嶼部における国境管理レジームと地域社会の変容研究会, 東京都港区	単独セッション (長津 一史 ・ 東洋大学)
28	本名純	Indonesia's National Police and Community Policing: Between Reform and Politics	2016年5月	Community Policing in Southeast Asia, CSEAS, Kyoto University, 京都府京都市	単独セッション (Janjira Sombatpoonsiri ・ Thammasat University)
29	岡野英之	エボラ出血熱の拡大と人々の対応 ―シエラレオネの事例から	2016年6月	日本アフリカ学会第53回学術大会, 神奈川県藤沢市	単独セッション (石井洋子 ・ 聖心女子大)
30	Jun Honna	Reinventing a New Indonesia-Japan Relationship in the Age of Globalism	2016年11月	Center for Research in Social Sciences and Humanities, University of Jember, Indonesia	セミナーにつき単独登壇のみ
31	Jun Honna	Bringing Human Back In: Maritime Non-Traditional Security Issues in Southeast Asia	2016年12月	Seminar Series on Non-Traditional Security Threats: Issues and Countermeasures, IIRAS, 京都府京都市	セミナーにつき単独登壇のみ
32	Kota Suechika	Strategies, Dynamics, and Outcomes of Hizballah's Military Intervention in the Syrian Conflict	2017年1月	International Conference on "Reconstructing State Security and National Integration in the Middle East", 同志社大学, 京都府京都市	Dr. Rahman Shahhuseinli, (ADA University) Dr. So Yamane(大阪大学)
33	Takuo Iwata	Laughter in African Politics	2016年10月	International Conference of Humanities Korea "Visualizing Crossing and Hybridity in African Societies and Cultures", Yongin, South Korea	単独セッション (大石高典 ・ 東京外国語大学)
34	Agus Trihartono	(Peer Review), Out of Shadow of the Past: Challenges towards a full-fledged ASEAN Political-Security Community	2016年9月	ASEASUK Conference 2016, SOAS, University of London, UK	単独セッション (Dr. Caverlee Cary ・ University of California, Berkeley)

35	中戸祐夫	アジアインフラ投資銀行 (AIIB) の政治経済学 – 米中対立構造下での日韓台の対応比較 –	2016年12月	「新時代の台日関係 – 社会科学領域的対話」, 台北, 台湾	単独セッション (清水唯一朗・慶應義塾大学)
36	中戸祐夫	Japan's North Korean Policy under the Abe Administration: The Stockholm Agreement and its Future Prospect	2016年12月	International Conference on Korea's Foreign Relations in the Era of Turbulence, 台北, 台湾	単独セッション (Chen, Hao-Yao・National Chengchi University)
37	足立研幾	「紛争解決・平和構築をめぐる多層的セキュリティ・ガバナンスの探求」(パネル企画、司会兼討論)	2016年10月	日本国際政治学会, 平和研究分科会, 幕張メッセ国際会議場, 千葉県千葉市	中内政貴(大阪大学)
38	佐々木葉月	暴力的過激主義対策の試みと成果 – オランダの事例を中心として	2016年12月	国際安全保障学会部会, 大阪大学, 大阪府豊中市	単独セッション (宮脇昇・立命館大学)
39	本名純	2016年インドネシアの海洋安全保障情勢	2016年11月	国際問題研究所, 東京都千代田区	セミナーにつき単独登壇のみ
40	本名純	インドネシア・ジョコウィ政権下の政治 – 評価と課題	2016年12月	JAC-NNA20 周年セミナー, 東京都千代田区	セミナーにつき単独登壇のみ
41	末近浩太	「現代シリアの国家変容とイスラーム」再訪: シリア紛争とメルトダウンする中東政治	2016年11月	NIHU プログラム現代中東地域研究・京都大学拠点「イスラーム中道派研究班」・科学研究費補助金基盤研究A「グローバル化時代に対応する21世紀型イスラーム学の構築」研究会, 京都府京都市	単独セッション (横田貴之・明治大学)
42	末近浩太	シリア紛争と関係各国の動向	2016年12月	財団法人世界政経調査会・国際情勢研究所・研究会, 東京都港区	セミナーにつき単独登壇のみ
43	末近浩太	なぜ「帰結」なのか?: 社会運動を説明する、社会運動で説明する	2017年1月	科学研究費補助金・基盤研究(B)(海外学術調査)「現代中東におけるイスラーム主義運動の動向と政治的帰結に関する比較理論研究」シンポジウム「イスラーム主義運動は中東政治に何をもたらしたのか: 民主化・独裁・内戦」, 京都府京都市	単独セッション (横田貴之・明治大学)
44	末近浩太	レバノン・ヒズブッラーによるシリア紛争への軍事介入	2017年1月	科学研究費補助金・基盤研究(B)(海外学術調査)「現代中東におけるイスラーム主義運動の動向と政治的帰結に関する比較理論研究」シンポジウム「イスラーム主義運動は中東政治に何をもたらしたのか: 民主化・独裁・内戦」, 京都府京都市	単独セッション (横田貴之・明治大学)
45	末近浩太	中東政治研究における「宗派」をめぐる「方法論」と「認識論」: レバノンとシリアを中心に	2017年2月	科学研究費補助金基盤研究A「宗教の政治化と政治の宗教化: 現代中東の宗派対立における社会的要因と国際政治の影響」研究会, 立命館大学東京キャンパス, 東京都千代田区	酒井啓子(千葉大学法政経学部) 他
46	末近浩太	21世紀の国際関係における崩壊国家を再考する: 「グローバル関係学」の構築に向けて	2017年2月	科学研究費補助金・新学術領域研究(研究領域提案型)「越境的非国家ネットワーク: 国家破綻と紛争」研究会, 立命館大学東京キャンパス, 東京都千代田区	久保慶一(早稲田大学政経学部) 他
47	福海さやか	国際組織犯罪: ラテンアメリカの麻薬密輸	2016年10月	グローバル・ガバナンス学会, 大阪大学, 大阪府豊中市	単独セッション (安江則子・立命館大学)
48	福海さやか	国際組織犯罪: ラテンアメリカの麻薬密輸	2016年11月	インターナショナルフォーラム, 亜細亜大学, 東京都武蔵野市	セミナーにつき単独登壇のみ
重点プロジェクト(中国強国化諸相)					
49	Hirono, M.	East Asia's Common Security Challenges and Military Operations Other Than War (MOOTW): Opportunities for Military Cooperation	2016年12月	“Towards an Asian Community of Common Destiny: Opportunities and Challenges” International Symposium, Jinan University, Guangdong, China	単独セッション (YIN Zhinan・Jinan University)

50	Hirono, M.	Humanitarian Risks of the Belt and The Road' Multiple National interests, Processes and Actors	2016年12月	2016 International Conference on Emergency Management, Chinese Academy of Governance, Beijing, China	単独セッション (Prof. Dr. Martin Voss ・ Freie Universität Berlin)
51	Hirono, M.	China's proactive diplomacy in Afghanistan: challenge to the principle of non-interference	2016年12月	"China's New Roles and Behaviours in Conflict-Affected Regions: Evolving Approaches to the Principle of Non-Interference", 立命館大学衣笠キャンパス, 京都府京都市	単独セッション (末近浩太・立命館大学)
52	Hirono, M.	"China's Approach to Peacebuilding: Towards Liberalism?", Peacebuilding Initiatives in Asia' Is there an "Asian" Model?.	2016年10月	Research Core for Peace with Ritsumeikan Interdisciplinary Studies, Ritsumeikan Global Innovation Research Organization (R-GIRO), 立命館大学衣笠キャンパス, 京都府京都市	単独セッション (金聖哲 ・ソウル大学統一平和研究院教授)
53	廣野美和	中国の平和維持活動及び人道主義支援: 「リスク」概念からの分析	2016年10月	日本現代中国学会, 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス, 神奈川県藤沢市	単独セッション (王 廣濤・愛知大学)
54	Hirono, M.	'A Responsible Power? Perceptions of China's Role in Peacebuilding and Humanitarian Assistance	2016年8月	Seminar, Graduate Centre in Governance and International Affairs, The University of Queensland, Queensland, Australia	単独
55	Hirono, M.	China's Approach to Peacebuilding: Towards Liberalism?	2016年6月	International Studies Association Asia Pacific Hong Kong 2016, City University of Hong Kong, Hong Kong, China	単独セッション (Yu-Ting Lin ・ University of Southern California)
56	Ryan Manuel	Xi Jinping's "new Confucian" foreign policy?	2016年10月	立命館大学衣笠キャンパス, 京都府京都市	William Zou (東京大学)
57	鈴木章吾	The Comfort Women Issue in Taiwan	2016年12月	立命館大学衣笠キャンパス, 京都府京都市	セミナーにつき単独登壇のみ
58	守政毅	ネットワーク組織の活動による企業家ネットワークの形成に関する探索的研究-アジアの中華総商會を事例に-	2016年12月	九州経済学会第66回大会,九州大学, 福岡県福岡市	単独セッション (永田聖二・長崎大学)
59	守政毅	カンボジアの経済発展における華人ネットワークの役割	2016年12月	東アジア地域研究会・神戸華僑華人研究会合同例会, 中華會館, 兵庫県神戸市	単独セッション (南玉瓊・立命館大学)
60	陳晋	中国自動車市場の中間層で勝つ条件 ~リーダーと組織の条件考察~	2016年9月	アジア経営学会第23回全国大会,九州産業大学, 福岡県福岡市	単独セッション (加藤康・京都経済短期大学)
61	陳晋	Effects of Intermediate Imports and Outsourcing on the U.S. Labor Market	2016年7月.	12th ANNUAL CONFERENCE of the ASIA-PACIFIC ECONOMIC ASSOCIATION (APEA) , International Management Institute (IMI) , Kolkata, India	Chung Mo Koo (Kangwon National University, KR)
62	陳晋	The Risk & Chance of Japanese Enterprises in Chinese Market	2016年7月	2th ANNUAL CONFERENCE of the ASIA-PACIFIC ECONOMIC ASSOCIATION (APEA) , International Management Institute (IMI) , Kolkata, India	Chung Mo Koo (Kangwon National University, KR)
63	陳晋	中国企業イノベーションの新しいパターンに関する研究—世界トップ商用ドローン企業 DJI の成長戦略	2016年6月	産業学会第54回全国研究会, 立命館大学大阪茨木キャンパス, 大阪府茨木市	単独セッション (顔東鵬・広東省東莞市偉億手袋有限公司)
64	竇少杰	アメーバ経営と経営フィロソフィの実践における日中比較研究	2016年12月	稲盛経営哲学研究センター第2回国際シンポジウム, 立命館大学大阪茨木キャンパス, 大阪府茨木市	単独セッション (サトウ タツヤ・立命館大学)
65	竇少杰	日本老舗企業的矛盾	2016年11月	2016 中国家族企業伝承主題論壇, 北京, 中国	蔣錫培(遠東控股集团董事局主席・首席執行官)
66	竇少杰	日本老舗企業の永續経営と中国企業への示唆	2016年9月	中国問題研究会2016年次大会, キャンパスプラザ京都, 京都府京都市	単独セッション (大濱慶子・神戸学院大学)
67	竇少杰	中国企業の生産現場の真実: 中国企業の生産現場に	2016年6月	日本労務学会第46回全国大会, 同志社大学, 京都府京都市	単独セッション (白木三秀・早稲田大学教授)

		おける労使関係			
68	竇少杰	ケーススタディ：中国大陸の家族企業の事業承継	2016年6月	第四回中日企業事業承継フォーラム,台湾東海大学,台中,台湾	劉正(東海大学社会学系教授・社会科学学院院长)
69	竇少杰	伊藤家と「鈴木帝国」：7&iホールディングスのトップ人事騒動から創業家と専門経営者との関係を見る	2016年6月	第四回中日企業事業承継フォーラム,台湾東海大学,台中,台湾	劉正(東海大学社会学系教授・社会科学学院院长)
70	竇少杰	企業の経営管理と現場力	2016年5月	北京大学EMBA研究会,北京,中国	薛錦展(北京大学アムバー経営研究部特聘講師)
71	中川涼司	中国の多国籍企業化の現状と発展途上国多国籍企業論への意味	2016年10月	日米中政治経済研究会との合同研究会,立命館大学衣笠キャンパス,京都府京都市	単独セッション (Katalin Völgyi・Research Fellow, Hungarian Academy of Sciences)
72	南玉瓊	中国朝鮮族の国内移動とエスニック・コミュニティの再生	2016年12月	東アジア地域研究会、神戸華僑華人研究会との合同研究会,兵庫県神戸市	単独セッション (上田貴子・近畿大学)

4. 主催したシンポジウム・研究会等

研究所内プロジェクト

No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	2016年度中国語圏地域人文学研究会第1回研究会	末川第三会議室	2016年7月	20	なし
2	2016年度中国語圏地域人文学研究会第2回研究会	平井嘉一郎図書館 カンファレンスルーム	2016年11月	50	なし
3	2016年度中国語圏地域人文学研究会第3回研究会	末川第三会議室	2017年3月	20	なし
4	第1回中国法・アジア法研究会	存心館705	2016年11月	20	なし
5	第2回中国法・アジア法研究会	存心館802	2017年1月	80	なし
6	第46回日米中政治経済研究会	末川記念会館第3会議室	2016年4月	10	なし
7	第47回日米中政治経済研究会	至徳館102室	2016年5月	10	なし
8	第48回日米中政治経済研究会	至徳館102室	2016年7月	10	なし
9	第49回日米中政治経済研究会	末川記念会館第三会議室	2016年10月	10	なし
10	第50回日米中政治経済研究会	明学館地階83教室	2016年11月	10	なし
11	第51回日米中政治経済研究会	末川記念会館第3会議室	2016年12月	10	なし
12	第52回日米中政治経済研究会	末川記念会館第3会議室	2017年1月	10	なし
13	第53回日米中政治経済研究会	末川記念会館第2会議室	2017年3月	10	なし

重点プロジェクト(CAPS)

14	土曜講座7月「悪党たちの国際関係」	末川記念館	2014年7月	700	
15	ワークショップ Marcus Mietzner (Associate Professor, The Australian National University) “Jokowi’s Presidency: From Elite Consolidation to Extra-parliamentary Mobilization?”	恒心館735教室	2016年12月	35	国際関係研究科

16	国際シンポジウム「アジアにおける平和構築の取り組みーアジア的平和構築モデルはあるのか」	創思館カンファレンスルーム	2016年10月	200	国際関係研究科/ R-GIRO
重点プロジェクト(中国強国化諸相)					
17	China's New Roles and Behaviours in Conflict-Affected Regions: Evolving Approaches to the Principle of Non-Interference	衣笠キャンパス	2016年12月	100	R-GIRO/ 国際関係学部
18	Ms Jing CHENG (PhD Scholar, University of Nottingham) によるセミナー “China's cyber nationalism and critical discourse analysis”	衣笠キャンパス	2016年12月	40	国際関係学部
19	第1回「中国市場ビジネス戦略研究会」セミナー 林林 「ハイアールのR&D体制と戦略」	大阪茨木キャンパス	2016年11月	40	
20	第2回「中国市場ビジネス戦略研究会」セミナー 王海兵 「インターネット時代のビジネスモデルとそのイノベーション」	大阪茨木キャンパス	2016年12月	40	
21	日米中政治経済研究会との合同研究会	末川記念会館第三会議室	2016年10月	15	日米中政治経済研究会
22	東アジア地域研究会、神戸華僑華人研究会との合同研究会	神戸華僑会館	2016年12月	40	東アジア地域研究会、神戸華僑華人研究会

5. その他研究活動(報道発表や講演会等)					
研究所内プロジェクト					
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間	
1	三須祐介	(書評) 藤野真子『上海の京劇ーメディアと改革』	『現代中国』90号 (2016年9月)	日本現代中国学会	
2	宇野木洋	(書評) 中国1930年代文学研究会編『中国現代散文傑作選1920~1940ー戦争・革命の時代と民衆の姿』	『日中友好新聞』第2398号(2016年10月)	日本中国友好協会	
3	宇野木洋	(書評) 『丁玲自伝ー中国革命を生きた女性作家の回想』	『中国文芸研究会会報』第424・425合併号 (2017年3月)	中国文芸研究会	
重点プロジェクト(CAPS)					
4	足立研幾	朝刊第1面(オバマ広島訪問についてのインタビュー記事)	京都新聞	2016年5月28日	
5	末近浩太	「「絶望」を糧とする「イスラーム国」/イスラーム主義とは何か(第16回)」	Yahoo! Japan ニュース・個人,	2016年8月16日	
6	末近浩太	「ダッカ、ニース、ミュンヘン...「過激な通り魔」を安易に「ISのテロ」と認定することほど危険なことはない(賢者の知恵)」	現代ビジネス	2016年7月25日	
7	末近浩太	「「アラブの春」とイスラーム政党/イスラーム主義とは何か(第15回)」	Yahoo! Japan ニュース・個人,	2016年7月25日	
8	末近浩太	「ISに感化 自発的犯行か」	京都新聞5面	2016年7月3日	
9	末近浩太	「対テロ戦争が生んだ「テロリスト」/イスラーム主義とは何か(第14回)」	Yahoo! Japan ニュース・個人	2016年6月30日	
10	末近浩太	「イスラーム過激派「第2世代」の登場、アル=カーイダ/イスラーム主義とは何か(第13回)」	Yahoo! Japan ニュース・個人,	2016年5月31日	
11	末近浩太	「イスラーム抵抗運動の登場、ハマースとヒズブッラー/イスラーム主義とは何か(第12回)」	Yahoo! Japan ニュース・個人,	2016年5月24日	
12	末近浩太	「ロンドン市民がカーン新市長誕生によって真に勝ち取ったもの(中東読解)」	News Picks	2016年5月22日	
13	末近浩太	「中東で民主主義が定着しない「本当の理由」:イスラームをめぐる2つの問題について(賢者の知恵)」	現代ビジネス	2016年5月19日	
14	足立研幾	講演、「セキュリティ・ガバナンス論の新地平ー安全保障をめぐる政府と非政府主体の協働と競合」	上智大学国際関係研究所	2016年5月20日	
15	クロス京子	講演、「紛争後の正義と和解をめぐる相克ー痛ましい過去を乗り越える多様な試み」	立命館土曜講座	2016年8月27日	
16	佐々木葉月	講演、「9.11事件以降のテロリズムの変化を考える」	奈良シニア大学	2016年9月1日	

17	本名純	講演、「東南アジアの人身取引」	立命館土曜講座	2016年7月2日
18	末近浩太	討論者, IPSA 24 th World Congress of Political Science, "Politics in a World of Inequality,"	Poznań Congress Center (PCC), Poznań, POLAND	2016年7月25日
19	末近浩太	司会者, Panel 2B, BRISMES Annual Conference 2016 "Networks: Connecting the Middle East through Time, Space and Cyberspace,"	University of Wales Trinity St David, Lampeter, UK	2016年7月14日
20	福海さやか	講演, 「ラテンアメリカの麻薬産業」	立命館土曜講座	2016年7月9日
21	石原直紀	司会, Workshop 「Asian Security Orders: Hegemony, Balancing or Security Pluralism?」	立命館大学	2016年5月26日
22	岡野英之	講演, 「武装勢力は国境を越える—シエラレオネ内戦の事例から」	立命館土曜講座	2016年7月16日
23	岡野英之	講演, 「変わりゆくミャンマー—民主化で内戦はどう変わるか」	立命館大学ライスボールセミナー,	2016年7月5日
24	本名純	寄稿・ジョコウィ政権発足2年	じゃかるた新聞 1面,	2016年10月21日
25	末近浩太	ゼロからわかる「イスラーム国」が世界的な一大現象になるまで	現代ビジネス	2016年10月20日
26	末近浩太	「トランプ勝利がムスリムに与える「3つの負の影響」	News Picks	2016年11月15日
27	末近浩太	なぜいま中東では「独裁の復活」が起こっているのか?	現代ビジネス	2016年12月26日
28	クロス京子	講演, 「紛争後社会における正義と和解追求の試み—東ティモールのハイブリッドな移行期正義メカニズム」	南山大学アジア・太平洋研究センター	2016年11月9日
29	Kyoko Cross	講演, "What can we learn from reconciliation program of Sierra Leone"	The Aceh Institute	2017年2月18日
30	佐々木葉月	講演, 「過激化問題を考える—グローバルなテロリズムの変化とガヴァナンスへの示唆」	立命館大学ライスボール・セミナー	2016年10月4日
31	本名純	討論者, 「部会7 インサージェンシーの地域比較」	日本国際政治学会創立60周年記念研究大会,	2016年10月15日
32	本名純	講演, 「3年目に入ったジョコウィ政権の政治—展望と課題」	日本インドネシア協会	2016年12月20日
33	末近浩太	講演, 「混迷する中東情勢: イスラーム・テロリズム・難民」	茨木シニアカレッジ「いこいこ未来塾」現代コース	2016年12月4日
34	末近浩太	講演, 「欧州におけるテロリズムと移民・難民問題」	朝日カルチャーセンター中之島教室講座	2017年1月21日
35	Agus Trihartono	Open Seminar, "Is ASEAN Way Obsolete? Moving to a Full-fledged of ASEAN Political-Security Community (APSC)."	Institute of International Relations and Area Studies (IRAS)-R-GIRO – GSIR, Ritsumeikan University. Kyoto, Japan.	2016年10月7日
36	岡野英之	講演, 「(若者) 言説が作り上げた新興エリート—紛争後シエラレオネからの考察—」	ワークショップ『アフリカ紛争後社会と〈若者〉』日本アフリカ学会関西支部2016年度第5回例会、トヨタ財団研究助成プログラム、京都大学稲盛記念館	2016年10月31日
37	Okano, Hideyuki,	"Managing the Ebola Crisis in Sierra Leone: How Local People and the Government Achieved Collaboration?"	Graduate School of International Development, Nagoya University	2016年12月16日
38	Okano, Hideyuki	"International Aid and Local Response against Ebola Crisis: The case of Sierra Leone."	Hitotsubashi University	2016年12月26日
39	Okano, Hideyuki	"Examining African Politics and Armed Conflict from Global and Historical Perspective,"	Special Seminar on Peacebuilding and Governance, Graduate School of International Development, Nagoya University	2017年1月16日
重点プロジェクト(中国強国化諸相)				
40	Hirono, M.	The Opportune Moment: US-China-Japan Cooperation in Conflict-Affected Regions	U.S.-Japan Research Institute Voice Vol. 20	2016年10月18日

6. 受賞学術賞					
No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
該当無し					

7. 科学研究費助成事業								
研究所内プロジェクト								
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割		
1	安江則子	EUの対外政策におけるコンディショナリティ	科研費基盤C	2012年4月	2017年3月	代表		
重点プロジェクト(CAPS)								
2	足立研幾	セキュリティ・ガバナンス概念の再検討	基盤研究(C)	2017年4月	2022年3月	代表		
3	本名純	インドネシアの中央・地方レベルにおける選挙政治の変容と「庶民派」リーダーの誕生	基盤研究(C)	2017年4月	2019年3月	代表		
4	末近浩太	現代中東におけるイスラーム主義運動の動向と政治的帰結に関する比較理論研究	基盤B 海外 学術	2016年4月	2019年3月	代表		
5	岡野英之	武力紛争の社会的要因に関する研究—シエラレオネ内戦後の首長層と都市若年層—	若手(B)	2016年4月	2020年3月	代表		
重点プロジェクト(中国強国化諸相)								
6	守政毅	ネットワーク組織が企業家のネットワーク形成と社会関係資本の獲得に与える影響の研究	若手(B)	2015年4月	2017年3月	代表		
7	陳晋	成長・変化の中国市場における製造業企業の成長戦略と競争力に関する分析	基盤研究(C)	2014年4月	2017年3月	代表		
8	竇少杰	中国企業の生産現場の真実～生産現場の管理から見た中国の労使関係	若手(B)	2014年4月	2016年3月	代表		
8. 競争的資金等(科研費を除く)								
重点プロジェクト(CAPS)								
No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割		
1	岡野英之	「シエラレオネの農村部指導者はエボラ出血熱の感染の拡大を防ぐためにいかなる役割を果たしたのか」	三菱財団人文科学研究助成第45回 (2017年度)	2016年4月	2017年3月	代表		
9. 知的財産権								
No.	氏名	名称	出願人 区分	発明人 区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
該当無し								